

# さいたまロゲイニング2026



## INDEX

**1\_イベント概要・成果物** **P. 3**

---

**2\_競技分析** **P. 5**

---

**3\_アンケート分析** **P. 7**

---

# 1\_イベント概要・成果物

# 1-1\_イベント概要

## さいたまロゲイニング2026

- 開催日 2026年4月12日(日)
- 会場 さいたま新都心 けやきひろば
- クラス 一般(2~6名のグループ)/ファミリー(2~6名のグループ)/ソロ
- 制限時間 4時間
- 参加費 中学生以上:1,650円 / 小学生:550円 / 未就学児:無料
- 定員 先着200名
- 競技エリア さいたま市
- ルール アプリによる写真撮影 / 公共交通機関利用可 / ボーナスポイント(XXを購入)あり
- スケジュール

- 09:00 受付開始・地図配布
- 10:00 開会式・競技説明
- 10:30 スタート
- 14:30 ゴール・集計
- 15:00 表彰式・閉会式



## 2\_競技分析



## 2-1\_本イベントのKPI

- 7/8項目の目標値を達成し、プレイベントで定めた目標をクリアできるイベントを開催できたと評価

		目標値	実績値
参加者数 KPI	参加者数	100名	200名
	ファミリー参加者数	—	80名
競技 KPI	チーム平均移動距離	8 km	22.3 km
	1チームあたり訪問数	12 箇所/チーム	22.8 箇所/チーム
	イベント満足度	4.0 /5.0	4.2 /5.0
課題解決 KPI	初めて知ったスイーツ店 を見つけた人の割合	50%	83%
	ボーナス点へのチャレンジ	1 箇所/チーム	3.6 箇所/チーム
	再訪希望度	4.0 /5.0	3.7 /5.0

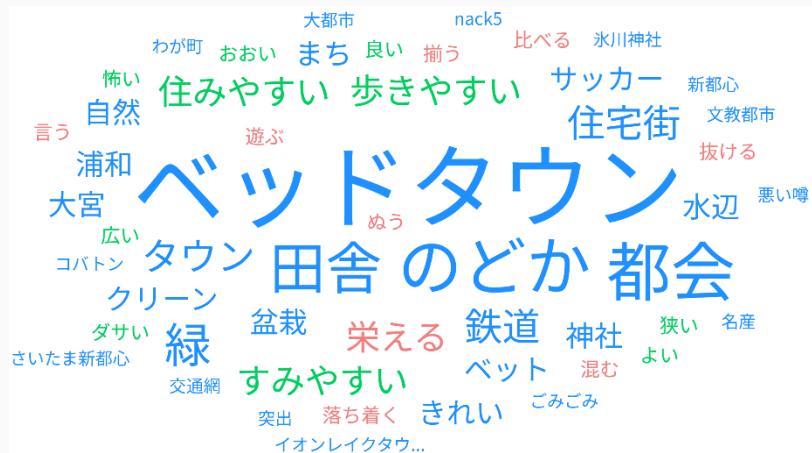
## 3\_アンケート分析



# 3-1\_ロゲイニングによる都市認識の変化

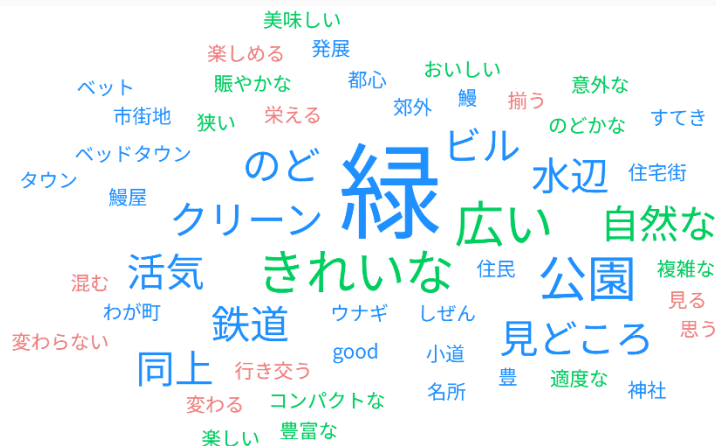
- 機能的な都市イメージは、ロゲイニングによる回遊体験によって「**発見のある街**」へ変化した

## 競技前(参加前)の印象



機能的で抽象的な評価が中心

## 競技後(参加後)の印象



体験に基づく具体的な価値の発見

### 1 機能的評価 → 体験価値



「ベッドタウン」「住宅街」などの機能的な評価から、「見どころ」「美味しい」「楽しい」などの体験価値の言葉が増加

### 2 都市 → 都市×自然



「都会」「住宅街」など都市を表す言葉から、「緑」「自然」「水辺」などが増え、都市と自然が共存しているという認識に変化

### 3 点の印象 → 面の理解



「浦和」「大宮」「さいたま新都心」など、駅やエリア名が中心だったものが、「小道」「(道が)複雑」「変わったものがある」などの言葉が増加

